

# コロナに負けず定期演奏会を 年末に市中のホールで敢行

コロナ禍でこの大学も活動困難となる中、現役達はなんとか工夫し練習を継続しています。6月には関東学生ギター連盟演奏会を単独開催、しかし8月に予定していたサマーコンサートは第5波の影響で開催中止と、未だ演奏会の開催自体コロナ影響次第という状況ではありますが、今年は定期演奏会に外部会場を予約しました。但し、この状況下でも年末の会場確保は難しく、12/27(月)の平日開催となってしまいます。平日なので18:30開演で、メインステージが19:00以降となるよう時間の配慮も行いますが、緊急事態宣言の状況次第では18時以降の会場の夜間利用ができず、平日午後開催となってしまう可能性も含んでの予約状況となります。演奏会としては厳しい状況ですが、開催できないという最悪よりは良いという考えです。

今回の演奏会では、延期となってしまいましたが当初予定されていた60周年式典における演奏も視野に「クラシックステージ」を準備してきました。曲目としては、以前にも取り上げたバッハの「チェンバロ協奏曲第5番より」を筆頭に、ホルストのセントポール組曲からの選曲などを行っています。コロナの影響で高校と一緒にやってきたジョイント・コンサートは今年も復活させませんが、例年ジョイント・コンサートで演奏してきたZappingは復活します。今年は

## ■第34回定期演奏会

日時:12月27日(月)

開場:18:00 開演:18:30

会場:清瀬市けやきホール

交通:西武池袋線清瀬駅 北口徒歩4分

※コロナ感染状況により、開演時間が前倒しとなる可能性があります。同様に急な開催中止も考えられる為、ご来場前に下記にて開催状況を☑ご確認ください

<國學院大學ギターアンサンブル公式サイト>

26年の長い歴史に終止符を打った映画シン・エヴァンゲリオンの楽曲を取り上げます。練習場所の確保も難しい状況が続いていますが、できる限りの演奏を目指したいと思います。

平日開催ということで集客面が心配です。現役には友人に声をかけるよう言っていますが、そもそも十数名の人数ですので限界もあります。OBの皆さんに一人でも多く足を運んで頂ければと思います。

宜しくお願い致します。

【早川陽一郎】



國學院大學ギターアンサンブル OB会報

「たはごと」第84号

発行/令和3年12月10日

発行人/伊東和彦

編集人/長尾和彦

発行所/西東京市南町6-16

-114 ☎042-466-0182

## ご挨拶

# 高級手工ギターに囲まれて

OB会会長 伊東 和彦

冬のひだまりがことのほか暖かく感じられる季節になりました。会員の皆様におかれましてはお元気で過ごしてでしょうか。既にホームページでもお伝えしましたが、令和3年に予定していました『60周年を祝う会』は役員会で検討した結果、コロナ感染防止と、会場を予定していた有栖川記念ホールが貸出を中断中で、皆様の安全を考慮し来年に延期しました。来年コロナの安全性が証明され、有栖川記念ホールが使用でき、皆様が安心して参加出来る条件が揃った時、盛大に開催したいと考えています。開催に関しては改めてホームページ等でご連絡致します。皆様と来年元氣な顔でお会い出来る事を楽しみにしています。

今年にはコロナ禍の影響でOB会としても予定通りの活動が出来なかつたことは誠に残念に思っています。幸い現役はコロナの中で、練習場所に苦勞しながら、6月の関ギ連では連盟ではただ一校参加し、素晴らしい演奏を聴かせてくれました。【2面参照】  
今、現役は年末の定演開催に向け猛練習をしています。他大学が活動を停止する中、定演を開催する現役の意気込みに只々感心する次第です。年末で多忙とは思いますが是非、お運び頂ければ幸いです。  
私は今江東マンドリンクラブに所属し、演奏活動を続けています。30名弱の部員は毎週集まり来年7月に開催される定演に向け黙々と練習をしています。私の部屋には今年購入した、桜井河野と「柳一雄」の手工ギターの他、ベンチャーズが使用したモズ

ライト、12弦のフォークギター等5台のギターがありいつでも弾ける様に手入れをしています。やはり手工の高級ギターは音色が良く、毎日喜んで弾いています。KGEOBは弾けないことが難点です。結婚式やイベントで演奏を頼まれますが、クラシック音楽ではウケないので、フラメンコを取り入れたアレンジでマイクを使い、会話が聞こえないくらいガンガン音を出し、カラオケ等に負けない生の演奏を披露、軽い音楽とお笑いのスピーチで盛り上げていきます。

## ホームページの活用に関して

現在、現役の活動やOB会の活動等はホームページに掲載しています。特にメルマガ登録した方にはタイムリーに情報を提供していますので、メルマガ登録がお済みでない方はホームページに登録方法が掲載されていますので是非登録してください。  
これまで永年にわたり長尾さんのご尽力で『たはごと』を発行してきました。長尾さんが制作、袋詰めから発送までお一人で行っているのが現状です。今後は長尾さんの体調も考慮し、OB会では鋭意ホームページに移行しているところです。最近情報が届かないという声をお聞きしますが、ホームページには常時クラブ情報を掲載していますので、是非定期的に「國學院大学ギターアンサンブル公式サイト」を閲覧し、メルマガ登録をお願いする次第です。

# 第33回KGE定期演奏会 山本行徳さんのご好意で宝生教会で開催



例年ですとOB会報の『たはごと』に掲載する記事ですが、OB会のオンライン化の方針に従い、今回はこちらへ投稿させて頂きます。とありましたが、本紙の発行時期に間に合いましたので誌面でも掲載させていただきます。

昨年12月26日(土)、第33回定期演奏会を無事開催することができました。コロナ禍で大学が封鎖され、練習場所も無い状況下で、山本行徳さんより神社を練習場所として、提供頂き、演奏会もこの神社の神殿前で開催させて頂きました。度重なる緊急事態宣言の発出により、会場を借りての開催可否が不透明な状況下でしたので、キャンセル料の発生しない会場の提供は大変助かりました。

また、開催にあたっては、来場者から陽性者が出た場合に保健所からの濃厚接触者確認の対象となることから、来場者の皆さんの連絡先を取得させて頂くなど、通常とは異なる対応を各種行つての開催でした。いろいろと面倒な手続き・対応をお願いしての開催だったのですが、当日は40名ほどのお客様にお集まり頂きました。ありがとうございました。

【早川陽一郎】

【再生リスト】第33回定期演奏会(2020)  
<https://youtube.com/playlist?list=PLjPveYs63W3e77QhQ2JoN-mqjD9BmXzUY->  
 <第33回定期演奏会 演奏曲目>  
 1.VS ~知覚と快楽の螺旋~ 2.糸 3.炎  
 4.ビッグブリッチの死闘 5.バロック音楽小品集 6.lb 7.紅蓮華  
 アンコール:糸

## 他校が自粛する中

### 國大単独で関ギ連開催

2021年度もコロナ禍の影響を受け、現役の活動は厳しいものでした。そんな中でも6月の関東学生ギター連盟定期演奏会が、最終的に國學院1校のみの開催となりましたが、演奏会を諦めずにステージに立つ事ができました。

当初この演奏会は東洋大学との開催の予定でした。しかし、コロナ禍で東洋が参加を辞退。そこで早稲田と明大の開催日であった6月19日(土)に、國學院も加えて頂くことで調整。ところが、4月に入つて明治も練習が維持できないことから参加を辞退し、直前まで早稲田と國大の2校開催として準備を進めてきました。しかし、緊急事態宣言の延長発表により早稲田も参加辞退を申し出てきた為、國學院のみの開催となりました。

國學院1校では演奏曲のボリュームが足りない為、若手OBの皆さんに呼びかけ、新1期、新5期、新8期の皆さんが重奏で参加、OBの皆さんの協力により実現できた演奏会でありました。コロナが広まり始めた昨年度より、現役は合宿もコンパも一切開催できない状況が続いています。そんな状況下で部員間のコミュニケーションを図ることも目的にサマーコンサートの開催を企画



関ギ連終演後の現役たち

しました。場所は昨年の演奏会開催でお世話になった山本行徳さんの山梨の神社で調整を進めてきました。しかし、継続する緊急事態宣言下で越界しての移動やイベント開催が好ましくない状況が続いてきた為、地方遠征は諦めるしかありませんでした。それでも演奏機会を減らしたくなかつた為、昨年定演を開催させて頂いた山本さんの中野坂上の神社で開催を実現させる考えでした。しかしこれもコロナ第5波では全国でも2万5千人を超えるという大規模な感染状況となり、とても演奏会を開催できるような状況ではなくなつてしまいました。山本さんには二度にわたりご厚意を無駄にしてしまう結果となり、本当に申し訳ございませんでした。

◆春の関ギ連が府中ウインホールで開かれると聞いて出かけた。車なら20分という距離だが電車で新宿を回った。東府中から7分の距離。府中の森芸術劇場は大小の音楽ホールや多様な集客に適したホールと3つのホールが集合した施設。会場は私もしばしば通つたし、練習などで使つたところだ。OBは若手を中心に姿を見せていた。

ホールから目と鼻の先の深大寺の大久保祐輔さんを誘つておいたのは腹蔵があった。終演後ロビーでのエールの交歓の後ホールを出て、駅周辺の飲み屋を巡つたが、どこも入店を断られた。タクシーを拾つて深大寺周辺の大久保さんの馴染みの店数軒も回つたが、いずれも酔客は入店ご法度だった。自宅まで彼を送つて、帰宅した。腹蔵は次のコンペまでお預けにして、大久保さんも、私も今夜も家飲みだ。【長尾和彦】

# 追悼

## 齋藤智正・静枝夫妻ご逝去

### 実直なる夫見送りすぐ後を追う

5期 佐藤光男

5期齋藤智正氏が亡くなりました。令和2年10月19日、74歳でした。難しい病だったそうです。入院を繰り返す夫に優しく寄り添い、懸命に尽くす妻静枝さん（同期、旧姓岩下）の献身看護も届き

ませんでした。くやしいです。一年ほどの闘病だったそうです。

学生当時、氏はチーフマネージャーを努めました。真面目で積極的、責任感の固まりのような人でした。



齋藤智正氏と後ろに静枝夫人。昭和39年11月にKGEの親睦会で向ヶ丘遊園に。

練習場所確保のために奔走する日々は、限りのない苦勞の連続だったと思います。春夏の合宿や定演、地方への演奏旅行などの部活計画が全て実行できたのは、氏の努力と意気込みの凄さ、惜しまない努力。これが氏の真骨頂だったのです。さらに非の打ちどころのない完璧な段取りも用意してくれていた。これによって何の滞りもなく障害もなく活動ができ、実績は向上、目標も達成できたのです。

悲しいことが続いてしまいました。信じられませんが、夫を亡くした静枝さんはその悲しみの中で気丈に四十九日の法要を執り行いました。そして心を休める日もないまま、その後突然倒れてしまったのです。ご近所の方のご協力と、ご息子の奥様の素早い機転で救急搬送されましたが、そのまま入院することになってしまいました。積みもった心労があつたのでしょう。

氏は卒業後、東京産業信用金庫（現さわやか信用金庫）に職を求めた。彼らしい仕事だと5期連中は大納得。そして金融の世界を自信満々に勤め進んで行った氏は、いつの日だったか一念発起、軽貨物運送事業を展開。持ち前の実直さから瞬く間に業績上昇。成田に本拠地移転の後は空港関連貨物の取扱いまでも……。

静枝さんは主婦の傍ら、盛んに仕事勤務もされたそうです。其の中でも書道美術館の勤務は特別だったようです。自らが得意とする書道に係る勤めだったからなのでしょう。元氣百倍、明るく楽しくはつらつと勤務の時間を過ごされたそうです。

そして更なる後には他業種での活躍の場も多く求め、それぞれに自らの実力を存分に発揮していったのです。

静枝さんは山梨県の出身、小柄で可愛らしく、そしてとても賢い人でした。文学部に学び、小さな指でギターを弾いていました。努力家でもありました。ある夏合宿の夜の練習の時です。ギター弦を押さえる静枝さんの指先が赤く染まっているのを見ました。滲み出るものを見て、その痛みは限界を超えていると思った。それでも堪えにこらえ遅い夜の眠い目もこすらずに、ただただ黙々と懸命必死に難曲に挑戦、向かい合っていました。氣力の全てを振り絞っているかのように。その姿が忘れられません。

東京練馬出身の氏は、すっかり成田の人になったようで、地域活動にも積極的に参加。社会貢献の思いも強く、シルバー人材センターや民生委員、そして社会福祉協議会などの職務や協力は著しく、多くの人々から受けた信頼尊敬の念は厚く、それは計り知れない大きなものだったと思います。

静枝さんは山梨県の出身、小柄で可愛らしく、そしてとても賢い人でした。文学部に学び、小さな指でギターを弾いていました。努力家でもありました。ある夏合宿の夜の練習の時です。ギター弦を押さえる静枝さんの指先が赤く染まっているのを見ました。滲み出るものを見て、その痛みは限界を超えていると思った。それでも堪えにこらえ遅い夜の眠い目もこすらずに、ただただ黙々と懸命必死に難曲に挑戦、向かい合っていました。氣力の全てを振り絞っているかのように。その姿が忘れられません。

惜しい人を亡くしてしまいました。そして良き友を失ってしまいました。本当に残念です。

ご冥福をお祈りいたします。





第21回KGE杯ゴルフコンペ成績表(ハンデ戦)  
Jゴルフ鶴ヶ島(令和3.10.19)

| 順位 | 氏名     | OUT | IN | GROSS | HD | NET | 次回HD |
|----|--------|-----|----|-------|----|-----|------|
| 1  | 新納文夫   | 48  | 52 | 100   | 24 | 76  | 17   |
| 2  | 岡田エミ   | 49  | 54 | 103   | 24 | 79  | 19   |
| 3  | 加納大輔   | 48  | 44 | 92    | 10 | 82  | 9    |
| 4  | 千代田恵津子 | 57  | 57 | 114   | 31 | 83  | 31   |
| 5  | 中村元貞   | 44  | 44 | 88    | 3  | 85  | 3    |
| 6  | 千代田正剛  | 47  | 48 | 95    | 9  | 86  | 9    |
| 7  | 中村光宏   | 50  | 52 | 102   | 14 | 88  | 14   |
| 8  | 中村善保   | 48  | 51 | 99    | 10 | 89  | 10   |
| 9  | 竹本義明   | 53  | 56 | 109   | 20 | 89  | 20   |
| 10 | 河野行広   | 46  | 51 | 97    | 7  | 90  | 7    |
| 11 | 大谷隆弘   | 49  | 58 | 107   | 12 | 95  | 12   |
| 12 | 長尾和彦   | 54  | 72 | 126   | 31 | 95  | 31   |
| 13 | 宮崎 正   | 57  | 54 | 111   | 15 | 96  | 15   |
| 14 | 大久保祐輔  | 62  | 56 | 118   | 21 | 97  | 21   |
| 15 | 桜井元美   | 62  | 60 | 122   | 25 | 97  | 25   |
| 16 | 河野和代   | 57  | 59 | 116   | 17 | 99  | 17   |
| 17 | 高橋康夫   | 55  | 70 | 125   | 20 | 105 | 20   |
| 18 | 高杉正行   | 80  | 71 | 151   | 26 | 125 | 26   |

優勝/新納文夫 準優勝/岡田エミ 3位/加納大輔  
ニアピン/河野行広(2) 竹本義明(8) 中村光宏  
(13) ベスグロ/中村元貞 ドラコン/中村元貞(5)  
加納大輔(18) ブービー/高橋康夫



優勝の新納文夫氏

次回は令和4年5月、会場は未定

# 新納文夫氏春季譲った優勝奪回

## 深大寺八起蕎麦が遅刻のお粗末も

10月19日(火)、埼玉県Jゴルフ鶴ヶ島カントリークラブで、第21回KGE杯秋の陣が開催された。前日からの雨もスタート後には上がり、ちょうど良いゴルフコンディション。ただ、事務局の長尾が毎回搬送していた深大寺の大久保祐輔さんのちよっとしたおとぼけ(?)があり、深大寺蕎麦がOBになるところだった。結果は春にトップスコアだったが初参加で譲った優勝を、院友の新納文夫氏が見事に奪回した。ゲスト3人が上位を独占した。

朝まで降っていた雨も上がった。今回も前回並みのメンバーが集まった。私は深大寺に車を回した。大久保邸に行くといつもなら門前でクラブをつかんで素振りをして

いるはずだが姿が見えない。玄関は開いている。ドアホンを鳴らすと娘さんが降りてきた。続いて奥さんも出てきた。ともにパジャマのままだ。店に行つたと思うと言う。間もなくダウンはんに身を包んで缶ビールを抱えて帰ってきた。門前の私を見るや、「おう、何しに来た? 朝からビール飲むうと思つたら家になかったの店に行つて取つてきた」「えっ! 今日ゴルフですよ」前夜の6時に電話したら不在で、8時に通じた。飲み屋から今帰ってきたと言う。翌日が「八起蕎麦」は定休日だから一人で酒籠りの休日を通り過ぎてしまったのか。私は幹事の河野行広氏に電話して、遅れるので第1組だった私と大久保氏の組を最後に繰り下げてもらった。

大久保さんのキャディバッグは我が家の玄関にずっと起きつ放しになっている。普段はもうゴルフはやらなから置いてくると言う。だからこの日は我が車の中にあるが、シューズは持ち帰っているから上がり框のあたりを探し出し、履いてみるに履き心地が違うと頭を傾けている。

時間がないのでそれを積んで八起店に回り、参加賞の蕎麦乾麺と店の紙袋を数えて積み込んだ。そして出発。

いつもはこの他に私の長屋の住民の大越忠光さんが同乗するのだが、彼は前回のコンペでシューズを無くし、この日は欠場だ。大泉学園から関越道に乗り、アクセルを一杯に踏み込んで鶴ヶ島インターで降りて、Jゴルフ鶴ヶ島に9時前に着いた。

玄関前に河野君達が総出で迎えに出て、何よりも参加賞の蕎麦の箱を真っ先に下ろした。受付で待ち構えていた河野夫妻以外はもうスタート地点に集まっていた。急ぎメン繋ぎをしてコンペは無事スタートした。

今回から75歳以上はシルバートイから打つていいことになり、私と大久保さんは恩恵に浴した。80歳を超えている私の高校の先輩竹本義明さんは、それには及ばずとレギュラートイから打つてニアピンまで取つちやうんだから叶わんなく。

【長尾】

# 第33回日本ギター合奏フェスティバル

## 宣言解除、2年ぶりに開催

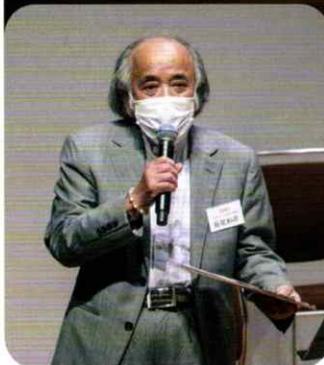
### 大橋正子さん指揮に演奏に

### 長尾和彦、理事長を勇(?)退

日本ギター合奏連盟(長尾和彦(理事長)が毎年開催してきた日本ギター合奏フェスティバルがコロナ禍の影響を受けて1年流れ、今年緊急事態宣言が解除された後、去る10月9日(土)、13時から、練馬区の「IMAホール」で2年ぶりに開催された。東京都のコロナの感染者が9月に入ってから次第に減り始め、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置は、10月1日、すべて解除された。同合奏フェスティバルは1年前に中止しており、2年連続はなんとしても避けたかった。感染防止のあらゆる手段を講じ何があっても実施するという強い決意のもとに当日を迎えた。同フェスティバルは大井町駅前「IMAホール」のホール取りを逃して、練馬区光が丘駅すぐ上にある「IMAホール」を確保して、実施にこぎつけた。主に関東周辺の大小16グループの合奏団が出演した。



ファンギターアンサンブル(大橋正子指揮)



長尾理事長の開会挨拶



アンサンブルOZ(指揮:永島志基)のステージ。右から3人めが大橋正子さん

5期の大橋正子さん(ギター合奏連盟常任理事)は、自らが指導する「ファンギターアンサンブル」を率いて出場し、「マズルカOp49(A・ドヴォルザーク)〜大橋正子編」を指揮した。

大橋さんはまた、同連盟の常任理事7人によるアンサンブル「OZ」に出演し、永島志基作曲・2021年 第16回 連盟委嘱作品「Blossom sower」百花繚乱」を作曲者自らの指揮で演奏した。

さらに18人編成の「グランドOZ」にも出場、2019年 第15回連盟委嘱作品 松岡滋作曲「陽の光の rond」(指揮 永島志基)の演奏にも加わった。

日本ギター合奏連盟の年間2つのフェスティバル(日本ギター重奏フェスタ・日本ギター合奏フェスティバル)では、演奏開始前に理事長が開演挨拶をするのがしきたり。いつも話が長いもんだから、理事たちから長話はやめてねと今回も釘を刺された。が、いつもそんな声を袖にして、取り留めのないことをうたうのだと喋ってしまう。

同連盟初代理事長だった、ギター制作家の河野賢氏以来開会挨拶は「あ〜う〜」で30秒くらいで終わってきた。それを長々と喋るのが長尾理事長の美点(？)だからまた長話になると思っていた。ところが、喋り出したら口籠って言葉が出てこない。コロナ禍のものと開催できたこと、出演者がかくも沢山集まってくれたことを「あ〜う〜」も交えながら、みなさんの快演を期待しますと、なんと喋り終えて客席に降りた。すると、私が座った席に駆け寄ったのが3面に齋藤智正君の追悼文を書いてくれた佐藤光男君だった。学年同期の大橋正子さんの演奏を応援に来たのだ。指さされて振り返ると、高橋龍徳・篠崎芳夫両君が笑って手を振ってきた。

佐藤君が私の挨拶を聞いて口籠もりながらの喋りに違和感を覚えたのだらう、直接そのことを指摘することは避けながら久闊を叙した。終わったら呑むかいと水を向けたが、苦笑して自席に戻った。5期同期OBの睦まじさが羨ましかった。

日本ギター合奏連盟では、長尾が最高齢となつてこのところ身の引き際を探ってきたが、この夏の救急搬送の一件以来ギターを手にすることがなくなつて、十分な練習をすることができず、アンサンブル「OZ」のメンバーを降ろさせてもらった。ギターを弾かずにステージに座っているだけでいいからなんて声も聞こえてきた。が、ギターを抱えて会場まで歩くことが難儀なのだ。

すでに当日のプログラムには、出演者4Thに私の名前が載っていた。【長尾和彦】

令和3年6月12日(土)、午後4時に山本行徳(こ)氏の宝生教会にKGEOB会役員会が招集された。

私は最近持病の難聴がひどくなり、かてて加えて常用の補聴器も聞こえが悪くなつていた。買い換えねばならない。今使っているのは、デンマークのWという補聴器だ。片耳がほとんど聞こえず唯一頼りにしていたもう片方の耳も聴力が落ちてきていた。もう補聴器なくして会話は成り立たない。教壇を降りてから10余年が過ぎた。演奏活動は75歳を境に辞めた。これまで長く使ってきたのは両耳で75万円もするものだった。が今回紹介されたのは片耳で55万円もする。私の余命も長くはなからう。それを考えると両耳はもう必要ない、片耳でいいだろうとモノラル仕様で済ませた。すると音量はなるほどびびりするほど大きくなったが、音が鮮明でない。両耳仕様だったら聴き分けられるのだろうか。鼓膜を再生する手術もあるが、医師は今の年齢を考慮するとやめたほうがいいと言った。

代理店が言うには、身体障害者手帳を申請すれば補聴器の1割が戻ってくる。このことで、指定医の耳鼻科で聴力検査を受けた。聴こえが残っている耳で4級の診断をもらい晴れて(?)身障者になった。1級に近いほど障害が重い。手帳を申請する際に審査が行われ、等級が認定される。話を戻そう。私は少し遅れて教会に着いた。奥の和室で丸テーブルを囲んで8人の役員が顔を揃えている。大まかな議題は、今年がKGE創立60周年にあたり、伊東和彦新会長の下で記念大会を如何に催行するか、そのための人員集めに各期別会の開催を奨励する等がすでに決まっていた。『たはごと』の発行は年間1回にして、

OB会費削減とホームページで各種連絡をすれば長尾の負担は軽減できるからというのだろう。私に異存のあろうはずはなかったが、またこの段階で60周年大会は延期ではなかったもので、私はその前振りをして大勢のOBを動員し、それを報道してから年一回にしてはどうかと提案したが否決されてしまった。結局周年行事は延期となつて、年一回の本紙作りに追われている。

5時に会議が終わつて、伊東会長と中山俊夫(14)、持田正(20)氏らと渋谷のレンタ



左から、長尾和彦、伊東俊夫、持田正。この時、長尾は「八起」に保、大谷、出、大、寺、高、深から

### 救急搬送

OB会費削減とホームページで各種連絡をすれば長尾の負担は軽減できるからというのだろう。私に異存のあろうはずはなかったが、またこの段階で60周年大会は延期ではなかったもので、私はその前振りをして大勢のOBを動員し、それを報道してから年一回にしてはどうかと提案したが否決されてしまった。結局周年行事は延期となつて、年一回の本紙作りに追われている。

取つて補聴器代理店に提出し代金1割の軽減を勝ち取った。さてどうするか。私は池袋のギター専門店フアナに電話して大橋健司社長を呼び出し、彼のポトルキープの店で飲んだ。5期OBの大橋正子さんのご主人だ。長い付き合いである。外飲みは久々だった。果籠もりから開放されて外で飲む酒は美味かった。意識はそこで途絶えている。

枕辺に娘がいた。視線の先に天井が垂れ下がっている。ここはどこだ? 娘は笑つて大塚の救急病院だよと言ふ。身体中に包帯が巻かれ、注射の跡を示す小さな止血テープが腕に貼られていた。私は身を起こしベッドから降りた。タクシーを呼んで帰宅した。病院の支払いとかタクシー代を娘に渡そうとしたが受け取ろうとはしなかった。埼玉に住む母の方から連絡が来て病院に急行したのだと。世田谷から駆けつけたそうだから、意識不明になつて2時間くらい経つていたようだ。タクシーの中で私は饒舌だった。久々に会つた娘が介抱してくれるのが嬉しかったようだ。帰宅したがもうすっかりいつもの状態に戻つていた。覚めた酔いを取り戻そうと冷蔵庫を開けたが娘にたしなめられた。娘はその晩臨泊していった。

そんなことがあつたので、地元のかかりつけ医に行くと、フレイル検査をやってみるかいと言ふ。子供騙しの簡単な検査だったが、数年後には認知症だねと笑いなから告げられた。以来日常の折々に気がかりな症状がつきまとう。特に物忘れがひどくなった。とりわけ人の名前が出てこない。糖尿病になつてから、夜は飯を食わずにつまみだけ作つて飲む。翌日、はて、何を食つたのだから思い出せないのである。そんな日常が池袋の飲み屋で出ただけなんだが、大橋社長にしてみればこれは日常にあらず、すわ

大事と119番したのでらう。あるいはそうしなかつたら今頃草葉の陰で永い眠りを貪つていたかもしれない。

元OB会長の大谷隆弘(12)君と指揮者の高橋康夫(13)君が、コロナ禍になつて仕切りに我が家に乗り込んで来る。店ツマミを見繕つて来るから私は酒を用意しておけばいい。独居の寂しさを慰めてくれるから嬉しい客だ。高橋がコロナ禍でホームワークになることがよくあり、昼過ぎから電話がかかってくる。初めのうちは私が肴を用意していたが、そのうち彼が食材まで買つてきて台所に籠るようになった。大谷は肉体労働から遅れてきてシャワーを浴びてから加わる。その頃には私はもう夢路を辿つているのだ。彼らが私をベッドに運び、大谷が布団を出して寝ていたりする。食卓は綺麗に片付いている。そんな話を同期の小林広海君にしたら、なんで俺を呼ばないんだと乗り込んできたのは5月の連休の時だった。みんなで盛大に飲んで、横浜の小林だけが帰宅の足がなく臨泊した。翌日朝からビールを出して飲み始めたが用意した朝飯には箸をつけず、昼近くまで飲んだ。いい加減に切り上げようとつて隣の部屋のパソコンを開いてから戻るともぬけの空だ。黙つて帰つたようだ。

2時間ほどして彼の奥さんから電話で、警察から電話があり近所で倒れて救急搬送され今田無の病院だと言ふ。2、3の病院をあつてすぐに分かつて駆けつけたが治療中だった。間も無く現れた奥さんと娘さんが恐縮して頭を下げる。翌朝もう一度具合を診たいと医師が言うから3人を泊め、翌日病院に送つていった。その直後にまさか自分が同じように救急搬送されようとは! 終活に駆り立てられる秋の暮れ

# OB便り



◆以前『たはごと』でも紹介いたしました坂本俊一「12」さんは、ギターに憧れスペインに渡航し40年が過ぎました。今や市民権も得てアルハンブラ宮殿のすぐ前に豪邸を構え、ギター修行の傍ら、アルハンブラ観光のBIP専用の観光ガイドとして、日本人ナンバー1と言われ活躍しています。坂本さんはグラナダの有名なギター製作家との親交も深く、この度本人の長年の夢であった製作家のパコ・サンチャゴ・マリオン50周年記念ギターを購入したそうです。日本で買えば高級車が購入できる金額だそうです。これからギターを練習して二流の



右上の写真、中央が坂本俊一氏、右側がサンチャゴ・マリオン



ギター弾きになると張り切っています。写真はアルハンブラ宮殿です。

◆相変わらず会員のために「苦勞戴き感謝」本号3面に使う齋藤夫妻の写真を探しながら、50年以上前のアルバムをめくりながら、50年を懐かしく思い出してあります。今更ながら皆若く色々あったことをほろ苦く思い出しました。最近はずつかり物が見にくくなり、活字を読んだりする時も苦勞しております。頭では全くダメだった東大に、今は2ヶ月に1回東大病院に通院しています。校内を散策し雰囲気味わってあります。長尾さんにおかれましてもお体には充分ご留意されお過ごしになられることを願っております。【5期 高橋龍徳】

◆驚きました。佐藤君から齋藤君の訃報がきて、まさかすぐに奥さんの訃報が届くとはねえ。伊東会長の方針で『たはごと』は

やめて、ホームページに統一すると役員会で決めたので、自分のボケと合わせてもう雲隠れしようかとなんもしないでいたら、この秋の60周年記念会を延期にしたのでそれを『たはごと』で周知してくれときた。もうずっと前にもらった佐藤君の訃報を探し出して掘り返して打ち込みました。【長尾】

◆いつもありがとうございます。お元気で益々のご活躍をお祈り申し上げます。当方闘病生活も15年となりましたが、おかげ様で元気でおります。コロナで旅行ができず残念です。【5期 金子慶徳】

◆いつもお送りいただきありがとうございます。感謝しております。昨年10月から住所が変わりました。T 3680072 埼玉県秩父郡横瀬町横瀬3033 0247423026

◆ギターと出会って楽しい人生になりました。相変わらずヘタツピですが、楽しくレッスンを続けています。今後はメルマガを見ます。【10期 西裕子】

◆小谷恵子様 ご無沙汰しております。その後お変わりありませんか？ 先の台風による未曾有の被害が房総方面に及んだというニュースに接して、多くの知人に安否を問うている所です。そちらはいかがだったのでしょうか？色々と難儀などなければと案じている所です。【長尾】

◆お見舞い有り難うございます。すごい風雨でびつくりしましたが、幸い浦安は大丈夫でした。東日本の災害の時も浦安は

停電と断水がありました。今回は千葉市中心でこんなに長引いた災害が起きて未だ回復しないのが心配です。また様々な行事も高齢者が増えた日本はさらに天候が大きく左右しますね。長尾さんも健康には呉々も大事になさって下さい。(9/14)【5期 小谷敬子】

◆75歳になりました。皆様から誕生日メッセージを頂戴して嬉しいです。まだまだこれからも走りますね。台風の被害は他の方々と比べると少なかつたよ。停電は3日間びつくりしました。【4期 鈴木眞智子】

## 編集後記

▼1年ぶりのお伺いである。緊急事態宣言で、OB会も金縛りに遭っている。新執行部が新企画を打ち出しても意のままにならない▼会員連絡はパソコンのホームページに移行することになって私の役目は終わったはずだった。が結局この有様だ。ひしひしと老化が押し寄せてきた。前号に続いてまた繰り返します。この仕事を引き継いでくれる人が500人OBの中に必ずいるはずだ▼『たはごと』発行から解放されることになり、パソコンの前に座ることがなくなつて1年。久しぶりに開くと、あれほど自在に操っていたアプリを操れなくなっている▼画像やイラスト、テキストなどを自在にレイアウトできるアドビのイラストレーター。頭の中からすっぽり消え去つた。操作はもろろん言葉が即座に出てこない。今号でそうした間違いなどが多く紛れ込んでいたのではないかと危惧している。校正ミスや認識違いの表記など発見の際はどうか「二報を(和)